



春を探してみませんか？

少しずつ春の足音が聞こえてきました。芽吹き、そしていろいろな花が咲き始める時季ですね。

のミツバツツジの仲間の総称です。

綾町の町花イワツツジⅡ写真Ⅱは、2月下旬〜4月上旬にかけて6〜10センチメートルの紅紫色の鮮やかな花をつけます。ちなみに、イワツツジは「ヒユウガミツバツツジ」や「コバノミツバツツジ」など数種類

ヒユウガミツバツツジは2月下旬から、照葉大吊橋を渡った先にあるがけや遊歩道沿いで見られます。コバノミツバツツジは4月中旬、海拔1千メートル以上の大森岳や掃部岳付近で見ることが出来ます。

草防止にも役立つほか、ミツバチの蜜源にもなっています。ほかにもたくさん植物が里地・里山の両方で花を咲かせ、わたしたちのまちを彩ります。じっと見つめると、厳しい冬を乗り越えて成長しようとする植物の変化に気が付きますよ。ゆっくり歩きながら、春を見つけてみませんか。



グ）が3月下旬から咲き始めます。田んぼ一面に咲いている、いわゆるレンゲ畑をよく見かけますが、これは、レンゲソウをすき込んで肥料にしたり（緑肥）、牛の飼料にしたりするためです。マメ科のレンゲソウは、植物を大きく生長させるのに必要な窒素をたくさん取り込むため、肥料として最適な植物なのです。また、休耕田の雑

■施設の見学・利用の問い合わせ先
綾ユネスコエコパークセンター
☎77-3482
※毎週火曜日休館

column

タカハヤ

西日本の湖や河川の上流〜中流域などに見られるコイ科の淡水魚。アブラメとも呼ばれています。体の側面には黒い斑点が不規則に散らばっていて、体全体が茶色っぽく、金属光沢がないことも特徴のひとつです。

コイの仲間の中では最も上流まで生息しています。ヤマメと同じく水が冷たい環境に住み、エサも水生昆虫などを食することから、ヤマメ釣りをする人からはエサ泥棒として嫌われることもあります。天ぷらや唐揚げで食べることもできますが、味については好みが変わるようです。

